

更新プログラム提供のご案内

お客様 各位

MJS LINK DXにつきまして、以下の内容に対応した更新プログラムを提供いたします。

お客様におかれましては、当案内をご確認いただき、更新プログラムの適用をお願いいたします。

<主な対応内容>

- ・ 財務大将 改正対応
- ・ 財務大将 支払管理 機能改良対応
- ・ 給与大将 2026年（令和8年）3月改正対応
- ・ 固定資産管理 新リース会計基準対応
- ・ リース管理 新リース会計基準対応
- ・ 各システムの機能改良および不具合対応

1. システムの対応内容について

対応内容は以下のとおりです。

【MJS LINK DX 財務大将】

- 改正対応
 - ・ 「使用権資産」「リース負債」の勘定科目をコードマスターに追加しました。
既存の会社データへの勘定科目の追加については、[「MJS LINK DX 財務大将 新リース会計基準対応 新しい勘定科目について」](#)を参照してください。
 - ・ 税効果会計の法定実行税率に、防衛特別法人税率の項目を追加しました。
- 支払管理 機能改良対応
 - ・ 支払処理を同時に行う「並行支払」機能について、同時に処理可能な支払データの最大件数を99件に拡大しました。
 - ・ 並行支払件数拡大に伴い、支払予定データ作成の抽出条件で、部門の範囲指定が行えるように対応しました。

【MJS LINK DX 給与大将】

- 2026年（令和8年）3月改正対応
 - ・ 子ども・子育て支援金の制度開始に対応しました。
 - ・ 通勤費・駐車場代の非課税限度額に関する改正に対応しました。
※改正・改良等の詳細については、[「給与大将「2026年（令和8年）3月改正対応」について」](#)を参照してください。

【MJSLINK DX 固定資産管理】

- 新リース会計基準対応
 - ・『会社基本情報』に[会計基準第34号適用区分]を追加しました。
会計基準第34号(新リース会計基準)を適用する場合は、この区分を「1:適用する」に変更します。
 - ・『資産種類』の80~89に「不動産リース」「借地権」の資産性格を追加しました。
※追加された資産種類の資産性格コード範囲の初期値はバージョンアップ時の登録状況によって異なります。
 - ・『資産種類』に[資産範囲・コード変更]機能を追加しました。
資産性格コード範囲、および資産コードの見直しが必要な場合に変更できます。
 - ・『物件登録』『減価償却内訳表』などの処理について、新リース会計基準に関連した項目の登録、集計に対応しました。

【MJSLINK DX リース管理】

- 新リース会計基準対応
 - ・『会社基本情報』に[会計基準第34号適用区分]を追加しました。
会計基準第34号(新リース会計基準)を適用する場合はこの区分を「1:適用する」に変更します。
 - ・『資産種類』を新規処理として追加しました。
固定資産管理と同様に、物件に設定する資産種類の登録を行います。
 - ・『物件登録』『リース資産減価償却内訳表』などの処理について、新リース会計基準に関連した項目の登録、集計に対応しました。
 - ・新リース会計基準適用後のリースに関する注記事項の確認、申告の参考資料として新規帳票『注記確認表』『申告調整確認表』を追加しました。
 - ・『財務連動処理』で「使用权資産計上仕訳」「リース負債支払仕訳」の起票に対応しました。

【各システムの機能改良および不具合対応について】

機能改良および不具合対応については、[【MJSLINK DX システム対応一覧】](#)をご参照ください。

2. オンラインアップデートについて

オンラインアップデートでは更新プログラムが自動でダウンロードされますが、バージョンアップは通常、自動では実行されません。ダウンロード後に必ずバージョンアップを実行してください。
※自動インストールの設定を行っている場合は、自動でバージョンアップが実行されます。
※オンラインアップデートの詳細につきましては、操作マニュアルをご参照ください。

3. バージョンアップについて

- (1) バージョンアップ方法については、オンラインアップデートのマニュアルをご参照ください。
- (2) バージョンアップにかかる時間は環境によって異なりますが、目安としては20分から30分程度です。
- (3) クライアント・サーバー型の環境で本プログラムを適用する場合、クライアント側でのセットアップが必要です。
- (4) インストールをする前に、システム内の「データ・バックアップ」等で、必ずデータの退避(バックアップ)を行ってください。

4. システムに関するお問い合わせについて

システムに関するお問い合わせは、GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」または「MJS AIアシスト」をご利用いただけます。

【GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」について】

GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」は以下の方法で参照いただけます。

▼ 【MJSLINK DXホームウィンドウ】



※ 画面右上の [?] ボタンをクリックし「よくあるお問い合わせ」を選択、「MJS AIアシスト」ボタンをクリックすると、GOODWILL PLUSサイトの同コンテンツを直接参照することができます。

「MJS AIアシスト」とは株式会社 ミロク情報サービスが提供する製品について知りたいことを質問形式で入力することで、生成AIが回答を提示するチャット型サポートサービスです。「MJS AIアシスト」では、「よくあるお問い合わせ」「操作マニュアル」「カスタマーサービスセンターに蓄積されたナレッジ」をもとにAIが生成した回答を表示します。「MJS AIアシスト」は無料でお使いいただけます。

「MJS AIアシスト」の使用方法については、GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」のFAQ番号：12629を参照してください。

5. 本店（経理）と支店（部署）でデータの送受信を行う際の注意事項

本店（経理）側と支店（部署）側の財務大将および販売大将でデータの送受信を行っている場合は、下記「MJSLINK DX 適用バージョン」をご確認のうえ、システムをご利用ください。記載が無いバージョンでは送受信を行うことはできません。支店（部署）側のPCまたはサーバーのオンラインアップデートでバージョンアップを行ってください。

▼ MJSLINK DX 適用バージョン

○：送受信可能、×：不適用

本店・経理側バージョン 支店・部署側バージョン		MJSLINK DX本店・経理側 DVD-ROM Ver.1.15	
		財務	販売
MJSLINK DX	Ver1.15	○	○
MJSLINK DX	Ver1.00 ~ Ver.1.14	×	×

部署入力で経理承認を使用している場合は、すべての仕訳を承認・連結してからバージョンアップを行ってください。

6. 申告書類を提出する際の注意事項

- (1) システムで作成された申告書類等は、必ず内容をご確認ください。
電子申告を行う場合は、帳票確認や送信票の「申告・申請・届出」タブで、送信される申告書類等を必ずご確認くださいのうえ、送信してください。
- (2) 当初申告要件がある明細書等に関しては、当初申告時は要件に該当しないが修正申告時等で必要になると想定されるものは、必要に応じて当初申告時に申告書に添付して提出するようにしてください。
- (3) 税務署への提出においてOCR用紙での提出が必要な申告書類等がありますのでご注意ください。
- (4) 税務署配布用の申告用紙以外での提出は、税務行政上のトラブルを最小限にするために、必ず税務署から配布又は送付されたプレプリントの申告用紙を添付することと、その番号等を照合のうえ、提出をお願いいたします。
- (5) 白紙印刷での申告書類等の提出は、予め提出先（税務署等）にご確認のうえをお願いいたします。
- (6) 国税局毎に様式の異なる用紙の税務署の受理については、予めお客様ご自身で提出先の税務署へご確認をお願いいたします。
- (7) プログラムをアップデート後は、改正対応された様式で印刷されますので、ご注意ください。

7. その他のご注意

システム使用上の注意事項については、以下のとおりです。

- (1) 操作説明の詳細は、ヘルプ機能および各システムの操作マニュアルをご覧ください。
※操作マニュアルについては、エクスプローラーで「Program Files」または「Program Files (x86)」配下のMJSフォルダ>MJSLNK5フォルダ>マニュアルフォルダに購入システムの操作マニュアル（PDFファイル）が収容されております。
- (2) プログラムインストール後、データはすべて本プログラム専用となります。以前のプログラムでは使用できなくなりますのでご注意ください。
- (3) インストールをする前に、システム内の「データ・バックアップ」等で、必ずデータの退避（バックアップ）を行ってください。
- (4) 旧システムのデータをコンバートしてご利用の場合は、システムの仕組みの違いからコンバートされない項目や計算項目・連動項目に変更となっているものがありますので、コンバート後に内容を十分ご確認ください。

以上